


令和7年度 兵庫県農業気象技術情報第7号（11～12月情報）について

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	全県共通	<p>1 ほ場管理、病害虫 <収穫後のほ場について></p> <p>(1) 表面排水に努め乾田化を図り、できるだけ早く稲わら及びたい肥をすき込む。その際、ほ場条件や水稲の生育状況等を考慮して、ケイ酸質肥料等の土づくり資材を施用する。</p> <p>(2) イネ縞葉枯病の発生状況は「ひこばえ」で容易に観察できる。発生が目立つほ場では、冬期の耕うんや畦畔雑草の管理を徹底し、ヒメトビウンカの越冬密度低減に努める。</p> <p>(3) 紋枯病の多かったほ場では、深く耕うんして菌核を土中にすき込むとともに、耕うん回数を多くして丁寧に碎土を行い、有機物の腐熟を促進し、病原菌密度を下げる。深耕で菌核を埋め込むには、ロータリー耕よりプラウ耕の方が効果は高い。</p> <p>(4) ごま葉枯病の多発したほ場では、土壌診断に基づき堆肥や土壌改良資材により土づくりを行う。詳しくは令和7年7月29日発表の令和7年度病害虫発生予察技術情報第1号（https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1394）を参照すること。</p> <p>(5) スクミリングガイの発生がみられたほ場では、土壌表面をよく乾かした後、丁寧にロータリー耕うんを行い、貝の破碎に努める。耕うんの深さは通常で良い。</p>	 <p>写真「ひこばえ」のイネ縞葉枯病の症状 ※縞葉枯防除マニュアル参照（https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/wp/wp-content/themes/pest/pdf/aside2-2.pdf）</p>
麦	全県共通	<p>1 栽培管理</p> <p>(1) 土壌診断に基づいて、pH6.0～7.0を目標に苦土石灰等の石灰質肥料を施用して土壌酸度を矯正する。 麦は出芽時のほ場管理が増収の決め手となるため、排水対策を徹底する。早めに周辺溝や排水溝を設置し、必ず排水口に連結する。さらに、弾丸暗きょ等を設置し、排水対策を徹底する。</p> <p>(2) 適期播種に努める。播種時期が遅れた場合は、播種量を増やす（11月下旬に播種する場合は、11月上旬播種の2割増とする）。 近年、暖冬傾向が続いていることから、年内の生育が旺盛な場合は、12月下旬までに速やかに麦踏みを行う。ただし、麦踏みはほ場が乾いた状態で実施し、その後、排水溝の手直しを行う。</p>	

麦 続 き	全 県 共 通	2 病害虫 (1) 種子消毒を実施する。	2 病害虫 (1) 「病害虫・雑草防除指導指針」に基づき、適正に種子消毒を実施する。
普 通 大 豆	全 県 共 通	1 生 育 成熟期は早くなる見込みであるが、莢付きが少ないほ場やカメムシ類の加害が多いほ場では青立ち株が発生する恐れがある。 収穫時期は、莢を振って音がする頃を目安とする。 コンバイン収穫の際は、汚粒防止のため、青立ち株及び雑草を除去し、茎の水分に留意して刈り取り時期を決め、適期収穫に努める。 しわ粒が発生させないように急速な乾燥は避ける。 <コンバイン収穫の刈り取り適期の目安> 茎水分50%以下になった時で、茎がやや黒みを帯びて、手でポキッと二つに折れる状態であること。	
黒 大 豆	全 県 共 通	1 生 育 成熟期はやや早くなる見込み。 計画的に各作業（葉とり、刈り取り、脱粒等）を行う。 裂皮、しわ粒が発生させないように急速な乾燥は避ける。	
キ ャ ベ ツ	全 県 共 通	1 生 育 夏まき年内どり品種では、収穫が始まる。夏まき3～4月どり品種は12月頃に追肥を行う。 2 病害虫 ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ及びタバコガ類のフェロモントラップでの発生調査では、10月の誘殺数が平年を上回っており、今後も多発状態が続くおそれがある。詳しくは、令和7年11月7日発表の「令和7年度病害虫発生予察注意報第8号（チョウ目害虫ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ・オオタバコガ）」（ http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1493 ）を参照すること。	1 生 育 ほ場の観察を行い、品種や作型にあわせ、適期の追肥及び収穫を心がける。 2 病害虫 ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウでは卵塊や分散する前の若齢幼虫を見つけたら、速やかに捕殺する。薬剤防除は効果が高い若齢幼虫期に行う。オオタバコガは潜り込む性質が強いことから、十分な防除効果を得るために、散布量を適正にして、結球部や花蕾などの重なりが多い部分にもしっかりと薬液を行き渡らせる。薬剤防除を行う場合には、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。

果樹	全県共通	1 生育 凍寒害の発生防止に努める。	1 生育 凍寒害や雪害の危険性のある園地では被害防止対策を行う。 ・イチジク：わら、アルミ蒸着フィルム等の被覆（主枝上面にわらの束を載せるだけでも凍害防止効果あり） ・クリ：幼木への株ゆるめ処理等 ・ナシ：早めの粗剪定、果樹棚の点検、補強 ・カンキツ：不織布やコモの被覆
		2 病害虫 越冬病害虫の密度を下げる。	2 病害虫 病害虫による被害果、剪定枝及び落葉の焼却や園外への持ち出し等を行う。必要に応じて薬剤散布を行う。 カンキツは収穫前に貯蔵病害対策を実施する。

◎水稲・麦・大豆の栽培については「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針」を参考にすること。
※本情報は、11月10日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう 1 か月予報

近畿地方 1 か月予報 (11/08~12/07)		
2025年11月06日14時30分 大阪管区気象台 発表		
向こう 1 か月 11/08~12/07	天候	近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率 5 0 %です。
	降水量	降水量は、近畿日本海側で少ない確率 5 0 %、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %です。
	日照時間	日照時間は、近畿日本海側で多い確率 6 0 %、近畿太平洋側で多い確率 5 0 %です。
1 週目 11/08~11/14	気温	1 週目は、平年並の確率 5 0 %です。
2 週目 11/15~11/21	気温	2 週目は、高い確率 5 0 %です。
3~4 週目 11/22~12/05	気温	3~4 週目は、高い確率 5 0 %です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう 1 か月 11/08~12/07	<div><div>20</div><div>30</div><div>50</div></div>
		1 週目 11/08~11/14	<div><div>20</div><div>50</div><div>30</div></div>
		2 週目 11/15~11/21	<div><div>10</div><div>40</div><div>50</div></div>
		3~4 週目 11/22~12/05	<div><div>20</div><div>30</div><div>50</div></div>
降水量	近畿太平洋側	向こう 1 か月 11/08~12/07	<div><div>40</div><div>40</div><div>20</div></div>
	近畿日本海側	向こう 1 か月 11/08~12/07	<div><div>50</div><div>30</div><div>20</div></div>
日照時間	近畿太平洋側	向こう 1 か月 11/08~12/07	<div><div>20</div><div>30</div><div>50</div></div>
	近畿日本海側	向こう 1 か月 11/08~12/07	<div><div>10</div><div>30</div><div>60</div></div>

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) 近畿地方の向こう 3 か月予報

近畿地方 3 か月予報 (11月~01月)		
2025年10月21日14時00分 大阪管区気象台 発表		
11月~01月	気温	平均気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 %です。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %です。
11月	天候	近畿日本海側では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率 5 0 %です。
12月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で少ない確率 5 0 %です。
01月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温、降水量の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	11月~01月	<div><div>20</div><div>40</div><div>40</div></div>
		11月	<div><div>20</div><div>30</div><div>50</div></div>
		12月	<div><div>40</div><div>30</div><div>30</div></div>
		01月	<div><div>30</div><div>40</div><div>30</div></div>
降水量	近畿太平洋側	11月~01月	<div><div>40</div><div>40</div><div>20</div></div>
		11月	<div><div>30</div><div>30</div><div>40</div></div>
		12月	<div><div>50</div><div>30</div><div>20</div></div>
		01月	<div><div>40</div><div>30</div><div>30</div></div>
	近畿日本海側	11月~01月	<div><div>30</div><div>30</div><div>40</div></div>
		11月	<div><div>30</div><div>40</div><div>30</div></div>
		12月	<div><div>30</div><div>30</div><div>40</div></div>
		01月	<div><div>30</div><div>40</div><div>30</div></div>

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の 3 階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1991~2020 年）における各階級の出現率が 33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「兵庫県病害虫防除所（病害虫発生予察情報）」
<https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針」
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・「兵庫県総合防除計画」
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農林水産部農産園芸課

TEL (078)341-7711(代表)

農産班:主作・機械担当 内線 79409

農産班:野菜担当 内線 79410

花き果樹班 内線 79411

技術内容に関すること

- ・兵庫県立農林水産技術総合センター

企画調整・経営支援部

TEL (0790)47-2435

農業技術センター 農産園芸部

TEL (0790)47-2410

農業技術センター 病害虫部

TEL (0790)47-1222

北部農業技術センター 農業・加工流通部

TEL (079)674-1230

淡路農業技術センター 農業部

TEL (0799)42-4880